






インフォメーション・コーナー







会 告

農業土木学会第40回通常総会開催について	78
平成19年度「研究グループ」の助成金募集について(再)	78
平成19年度「戦略的研究申請支援」の助成金募集について(再)	78
サマーセミナー2007参加者大募集!!(再)	79
平成19年度農学系JABEE研修会への参加のお願い 	79
「農業土木学会学術基金」の募金について(再)	80
農業土木学会災害対応調査団専門別調査団員登録についてお願い	80
環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針「農業農村整備事業における生態系配慮の技術指針」発行のお知らせ	80
学会誌掲載報文等による通信教育について	81
国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお願いと国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」について	81
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと編集事務局(投稿先)の韓国移転のお知らせ	82
農業土木学会誌への投稿お待ちしております!	83
身近にある水利遺構で表紙を飾ろう!!「水土の知(農業土木学会誌)」平成20年春季の表紙写真の募集	83
平成19年度農業土木学会九州支部第88回講演会(シンポジウム)・第30回講演会(現地見学会)について 	84
農地保全研究部会第28回研究集会 	84
第20回水文・水環境研究部会シンポジウムのご案内(第1報) 	85
第53回風に関するシンポジウム開催について	86
学会記事	87

農業土木学会行事の計画

農業土木学会行事について、下表のように計画しています。奮って参加下さるよう、お待ちいたしております。

 のマークが付されているものは農業土木技術者継続教育認定プログラム、または認定申請中を表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
平成19年8月 28~31日	大会運営委員会	平成19年度農業土木学会大会講演会 		松江市	74巻12号 75巻1,3号
平成19年9月 6,7日	農村計画研究部会	第29回現地研修集会 		奈良市	75巻2号
平成19年9月 20,21日	農地保全研究部会	第28回研修集会 		美瑛町	75巻4,5号
平成19年10月 18,19日	九州支部	第88回講演会・第30回講演会 		佐賀市	75巻5号
平成19年10月 24~26日	資源循環研究部会	平成19年度研究発表会 		東京都	75巻4号
平成19年11月 8,9日	水文・水環境研究部会	第20回シンポジウム 		岡山市	75巻5号

第75巻6号予定

展望: 経営安定対策を踏まえた農業農村整備の推進: 中川 敬夫

小特集: 中国四国の農業農村整備事業

国営かんがい排水事業「東伯地区」の完了と地域営農活性化への期待: 赤木 秀昭

水田という装置を永続的に使いこなすための技術開発: 三原 正司

「くだもの王国 おかやま」を担うかんがい施設の整備: 大賀 則男他

山口県における環境配慮の取組み: 井川 康治

ほ場整備から地域ぐるみの営農へ: 山地 隆範他

高知県の農業農村整備事業における環境配慮の経過と事例: 片岡 正法

技術リポート

北海道支部: 厚幌導水路の斜面部施工における連続繊維補強土工法の採用: 梶 雅之

東北支部: 指久保ダム右岸地山止水対策について: 保土澤 正教他

関東支部: カエル類の移動障害を軽減した実施例: 川嶋 一将

京都支部: 魚類の生息環境を改善する農業水路用魚道付き転倒堰の開発: 渡部 勉他

中四国支部: 下水処理水を再利用した農業用水の確保: 田坂 悦朗

九州支部: 非破壊工法による老朽化水路の更新: 山本 文博

講座: 生態系配慮の基礎知識(その3): 水田とため池の植物相: 嶺田 拓也

小講座: 外来生物法: 沖 陽子

私のビジョン: 大学院という進路を選択した君たちへ: 森 也寸志

農業土木学会学会第40回通常総会開催について

社団法人農業土木学会定款第27条により、第39回通常総会を下記により開催いたしますので、代議員にはご出席くださるようご案内申し上げます。なお、定款第27条4項により、正会員は総会に出席して、議長の了解を得て意見を述べることができます。

議案の詳細につきましては、学会ホームページに掲載しています。

記

日時 平成18年5月23日(水) 14:30~15:30

場所 虎ノ門バストラル新館4階ブリムローズ

議案 1. 平成18年度事業報告

2. 平成18年度収支決算

3. 平成19年度事業計画

4. 平成19年度収支予算

5. 定款(学会名称変更)の一部改正等

6. 名誉会員の推挙

7. その他

平成19年度「研究グループ」の助成金募集について(再)

研究委員会

「研究グループ」の育成を目的とし、下記取扱い内規によって研究助成を行います。

助成金額は、原則1件20万円程度3件以内です。

本年度の申請締切は、平成19年6月29日(金)です。助成金を希望される方は期限までに、所定の様式(学会HP参照)で研究委員会委員長宛にお申込みください。

試験研究機関、行政、大学、民間等からの応募を歓迎いたします。

「研究グループ」への助成金取扱い内規

- 1 申請: 学会員は所定の申請用紙に必要事項を記入の上、「研究グループ」への助成金の申請ができる。なお、申請者の資格は、後述の「4 助成対象」に示すとおりとする。
- 2 認定: 研究委員会は助成金申請のあった「研究グループ」につき、その可否を認定し、学会長に報告する。
- 3 配布: 研究委員会は認定した「研究グループ」に対し、「研究連絡費」として助成金を配布する。ただし、その配布は原則として1年とする。
- 4 助成対象: 申請できる条件(助成対象)は次のとおりとする。

(イ) 具体的な研究テーマをもち、しかもその研究分野が現在立ち遅れており、それを研究することが学会の研究活動の発展に対して新しい芽になりうること。

(ロ) 「研究グループ」の構成は本学会員を主とし、構成員は自らその研究に携わる分担者であること。

(ハ) 「研究グループ」には代表者(本学会員)をおき、構成員は原則として3名以上、それらの所属する機関が二つ以上あること。

(ニ) 「研究グループ」のすべての構成員の年齢は、助成金申請締め切り日に36歳未満であること。

- 5 活動報告: 助成金を配布された「研究グループ」は助成金配布後1年以内に活動報告を下記注意書き事項に留意し作成し、研究委員会に提出すること。

注1) 研究経過報告書の執筆にあたり、農業土木学会誌原稿執筆の手引きを参考とし、学会誌刷り上がり1~2ページに収まるようにまとめること。

注2) 「研究グループ」からの研究経過報告は研究委員会で承認の上、学会誌に掲載する。

平成19年度「戦略的研究申請支援」の助成金募集について(再)

研究委員会戦略的研究推進小委員会

農業土木分野における戦略的研究の推進を目的とし、下記取扱い内規によって、競争的研究資金獲得をめざす研究申請書作成グループに助成を行います。助成総額は、60万円程度(平成19年度、原則1件20万円以内)です。

本年度の申請締切は平成19年9月14日(金)です。助成金を希望される方は期限までに、所定の様式(末尾参照)で研究委員会戦略的研究推進小委員会委員長宛にお申込みください。

「戦略的研究申請支援」の助成金取扱い内規

1. 申請: 学会員は所定の申請用紙に必要事項を記入の上、「研究申請支援」の助成金の申請ができる。なお、申請者の資格は、後述の「4 助成対象」に示すとおりとする。
2. 認定: 研究委員会戦略的研究推進小委員会は、「研究申請書作成グループ」の申請内容(申請の意義、準備の状況、将来の展望など)を検討して、助成金の配布グループと金額を決定しま

す。なお、この決定内容は学会長に報告します。

3. 配布：研究委員会戦略的研究推進小委員会は認定した「研究申請書作成グループ」に対し、「研究連絡費」として助成金を配布する。可否の認定に当たっては、科学研究費補助金以外の競争的資金に応募を予定しているグループを優先します。
4. 助成対象：申請できる条件(助成対象)は次のとおりとする。
 - (イ) 具体的な研究テーマをもち、それを研究することが戦略的な意味で農業土木学の意義と役割を対外的に示すことに貢献しうること。
 - (ロ) 「研究申請書作成グループ」には代表者(本学会員)をおき、構成員(本学会員以外も可)は原則として3名以上、それらの所属する機関が二つ以上あること。
5. 活動報告：助成金を配布された「研究申請書作成グループ」

は、助成金受領後1年以内に活動報告として、作成した申請書とその提出及び審査の経過を、戦略的研究推進小委員会に提出すること。提出された活動報告は戦略的研究推進小委員会のデータベースに登録され、必要に応じて学会の研究申請支援活動に役立てられる。

「戦略的研究申請書作成」の助成金申請様式

締切(平成19年9月14日)

申込先：戦略的研究推進小委員会委員長宛(tkiku@jsidre.or.jp)

必要記載事項：

- (1) WG名(または部会名)
- (2) 代表者名・所属
- (3) 参画者名・所属
- (4) 研究テーマ名(仮)
- (5) 研究の目的と内容(500字程度)
- (6) 研究資金申請応募先(予定)

サマーセミナー 2007 参加者大募集!! (再)

農業土木サマーセミナー 2007 実行委員会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



「智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。」そんな住みにくい世の中の新しいことを、共に考えてみませんか?

農業土木を学ぶ学生を対象としたサマーセミナーは、今年で10回目の開催となります。学会終了後の3日間に行なわれるイベントです。

今回は「実施事業からみた農業土木のあり方」をテーマに、環境や社会と調和のとれた事業や、むかしの人々の創意工夫が垣間見れる構造物、大学と現場とのギャップなどを題材にしたセミナーを開催したいと考えております。日々研究に没頭しておられる方、お祭り騒ぎが好きな方、進路に関して考えている方、人脈を広げたい方ご参加いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

記

1. 主催 農業土木サマーセミナー 2007 実行委員会
2. 協賛 農業土木学会学生委員会
3. 日時 8月30日(木)大会終了後~9月1日(土)午前中迄
4. 場所 中国・四国地区国立大学 大山共同研修所
〒689 4213 鳥取県西伯郡伯耆町金屋谷字樹水原 793 44
5. 宿泊費等 15,000円以内
6. 参加申込み 以下のHPからお申し込みください。詳細に関しても随時更新しております。
http://www.geocities.jp/jsidre_ss_2007
7. 連絡・問合せ先
東京大学大学院新領域創生科学研究科 国際協力学専攻 櫻井芳実あて
TEL/FAX:0471 36 4852
E mail:kk59103@mail.ecc.u.tokyo.ac.jp

平成19年度農学系 JABEE 研修会への参加のお願い

技術者教育認定に関する検討委員会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



本年も農学系 JABEE 審査員養成研修会が7月28日に東京大学弥生講堂にて開催されます。多くの皆様の参加を期待しております。奮って、ご参加ください。

(なお、プログラム等、詳細は農業土木学会ホームページをご参照下さい)

日時：2007年7月28日(土)9:30~17:30(17:30より情報交換会有)

場所：東京大学弥生講堂〒113 8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内

<http://www.a.u.tokyo.ac.jp/yayoi/>

参加費：5,000円(当日現金にて支払い)

情報交換会費：2,000円(当日現金にて支払い)

申込み方法：農業土木学会ホームページより、申込書および審査員登録票(電子メール版)をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記の学会に電子メールで申込み。

申込先：農業土木学会事務局 菊辻 猛・花塚賀央

hanatsuka@jsidre.or.jp

締切：平成19年7月12日(木)

「農業土木学会学術基金」の募金について(再)

農業土木学会は、農業土木の学術・技術の発展を通じて、わが国農業の近代化に大きく貢献できたものと自負しています。しかし、昨今の日本の農業はかつてない厳しい環境におかれ、農業土木学の役割も従来に増して一層重要なものとなり、東南アジアをはじめとして全世界的な展開が望まれる状況になっています。

そのためには、若い世代の育成、新たな技術の開発や国際交流の進展が図られなければなりません。学会は、これら諸活動に資するものとして、平成3年4月に学術基金を創設、上野賞基金や富士岡研究奨励基金を統合し、さらに法人・個人有志からの拠出金等によることとしてきました。

つきましては、会員各位からの多くのご支援をいただきたく、お願い申し上げます。

なお、この学術基金による助成は、平成17年度までに40件の実績をあげています。

個人会員一口 5,000円(何口でも可)

法人会員一口 50,000円(何口でも可)

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。

銀行：みずほ銀行日比谷支店

普通預金 No.1569058 口座名 (社)農業土木学会学術基金

郵便振替：00140 2 54031 加入者名 農業土木学会学術基金

農業土木学会災害対応調査団専門別調査団員登録についてお願い

農業土木学会災害対応特別委員会

農業土木学会では、近年における地震、豪雨等による災害が各地に発生し、農地・農業用施設等に甚大な被害をもたらしている状況に鑑み、それら災害の原因究明、復旧対策工法の採用等に対する支援を行う組織として、災害対応特別委員会を設置しています。

この災害対応特別委員会では、農地・農業用施設に甚大な被害が発生した自然災害、学術的見地から緊急調査が必要と判断される自然災害に対して、災害発生後、直ちに災害対応調査団を派遣し、調査の実施、復旧支援を行う体制を整備しています。

そこで、災害対応調査団を組織しなければならない事態が生じた時に、早急に対応できるよう、調査団のメンバーを希望される方に事前に登録の申請をお願いします。審査の結果、登録された会員は、災害対応調査団候補者名簿(2年毎更新)に記載して、緊急災害等の場合に現地調査を行って頂きます。

なお、災害対応調査団の団員の資格および派遣の条件は以下のとおりです。

調査団の団員は、高度な専門知識を有する農業土木学会員とする。

調査団員は、候補者名簿にリストアップされた者から選定する。

調査団の派遣期間は、原則2~3日とする。

調査団派遣に関わる旅費は、農業土木学会が後日精算する(年度予算限度額300万円)。

調査団員に対して、調査に必要と考えられる保険を掛ける。

調査団は、調査結果を速やかに報告する。

上記の趣旨をご理解のうえ、学会事務局宛 FAX 03 3435 8494、E-mail saigai@jsidre.or.jpでお申込み下さい。様式は農業土木学会ホームページ(<http://www.jsidre.or.jp>)よりダウンロードし、お申込下さい。多数の応募をお待ちしております。

なお、登録頂いた個人情報、は、災害対応調査にのみ活用し、適切に取扱います。

環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針 「農業農村整備事業における生態系配慮の技術指針」発行のお知らせ

この度、「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針農業農村整備事業における生態系配慮の技術指針」が発行されましたので、お知らせいたします。

購入希望の方は、下記要領にてお申込下さい。

書籍名...「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の技術指針農業農村整備事業における生態系配慮の技術指針」

価格...3,300円(消費税内税,送料学会負担)

規格...A4版 約170ページ

申込方法

I. 役所等で、公用として購入される場合

ファックスかメールでお申込ください。様式は問いません。

ご希望冊数,送付先住所,請求書の宛名をご記入ください。

II. 個人,会社で購入される場合

現金書留：書籍代金と、書籍名、冊数を書いた文書をご同封ください。
郵便振替(00160-8-47993)：振替用紙の通信欄に書籍名、冊数をご記入ください。

申込先

〒105 0004 東京都港区新橋5-34-4
(社)農業土木学会事務局 河合あて
☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494
E mail:maki@jsidre.or.jp

学会誌掲載報文等による通信教育について
農業土木学会行事企画委員会
農業土木技術者継続教育機構通信教育部会

通信教育を平成18年11月より本格実施しております。是非、通信教育にご参加下さい。

1. 参加会員の募集

参加をご希望の学会会員で、かつCPD機構会員の方は、農業土木学会のホームページ(<http://www.jsidre.or.jp>)にある参加申込書に必要な事項を記載してメール(E mail:cpd@cpd.jsidre.or.jp)あるいはFAX(03 5777 2099)でお送り下さい。

これまで試行に参加いただいていた方は、改めてお申しいただく必要はありません。

なお、この機会に農業土木学会、継続教育機構への入会を希望される方は、同様にホームページ(<http://www.jsidre.or.jp>, <http://www.jsidre.or.jp/cpd>)に申込様式がありますので、ご記入の上お申し込みください。

2. 申込期限

参加は、いつからでも可能です。

3. 事務局

事務局は、機構の評価委員会内部に設置する部会および機構事務局が担います。

4. 内容

問題は3カ月前の学会誌の報文等から、機構通信教育部会が作成し掲載します。

問題は択一式で、毎回10問出題します。報文の事実的内容から作成し、回答はメールで機構に返信していただきます。

採点の結果、7割以上正解で1CPD、満点で1.5CPDが取得でき、機構会員の継続教育記録に自動的に登録されます。

解答は技術者倫理に則り、自らの責任において作成していただきます。

5. 参加費

学会会員のための行事の一環として実施するため、学会が必要経費を負担しますので、当分の間、通信教育参加費は無料です。

国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお願いと
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」について

農業土木学会では、2003年1月に日本、韓国、台湾を中心としたアジアモンスーン地域の農業土木関連学・協会および各国際機関等と連携して、新たな国際学会(国際水田・水環境工学会; International Society of Paddy and Water Environment Engineering: PAWEES)を設立、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2007年3月末にはVol.5 No.1が発行されました。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関する研究論文、技術論文が多数掲載されますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。たくさんの方が国際学会へ入会されることを望みます。

掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑(水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
- ② 排水(排水管理, 排水施設)
- ③ 土壌保全(土壌改良, 土壌物理)
- ④ 水資源保全(水源開発, 水文)

- ⑤ 水田の多面的機能(洪水調節, 地下水涵養など)
- ⑥ 生態系の保全(水生, 陸生動物植物の生態系)
- ⑦ 地域計画(農村計画, 土地利用計画など)
- ⑧ バイオ環境システム(水田農業と水環境, 土壌環境, 気象環境)
- ⑨ 水田の多目的利用(田畑転換, 施設園芸)
- ⑩ 農業政策(農村振興, 条件不利地の支援策など)

水田農業を通じた国際的な研究交流, 情報交換の場として、皆様の国際学会への入会をお勧めします。

国際学会に入会されますと、会員には国際ジャーナルが、無料で配布されます。

出版社: Springer-Verlag 社(ドイツ)

発行スケジュール: 2003年3月創刊, 以後3カ月ごと

国際学会会費: 正会員 12,000円/年/4冊(送料等学会負担)

学生会員(院生含む) 8,500円/年/4冊(送料等学会負担)

申込先: 農業土木学会編集出版部 馬目宛

ホームページ: <http://www.jsidre.or.jp>

入会のお申込みは、学会HP(<http://www.jsidre.or.jp/publ/ij/scope.htm>)の「5. APPLICATION FORM FOR THE REGULAR

MEMBER」にご記入のうえ、メールまたはFAXでお申込みいただけます。

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと 編集事務局(投稿先)の韓国移転のお知らせ

農業土木学会では、2003年1月に日本、韓国、台湾を中心としたアジアモンスーン地域の農業土木関連学・協会および各国際機関等と連携して、新たな国際学会「国際水田・水環境工学会」(International Society of Paddy and Water Environment Engineering)を設立し、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2007年3月末にはVol.5, No.1が発刊されました。

我が国においても学術誌の評価に、SCI(Science Citation Index)のIF(Impact Factor)が利用されており、本国際ジャーナルでもIFの取得により高い評価の定着を目指しています。

また、世界13カ国からEditor(14名)を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名なSpringer Verlag社からの刊行です。

掲載論文は、Review, Article, Technical ReportおよびShort Communicationの4種類です。

投稿から掲載までの時間を短縮するとともに、SCI獲得のために年4回の発行としております。投稿者は国際学会員に限りますが、**投稿料、掲載料などを無料**として投稿者の負担を軽くするように配慮されています。

編集事務局の移転：2003年1月の学会設立以来、農業土木学会が編集事務局を担って参りましたが2006年1月1日からは新Editor in Chief;中野芳輔九州大学教授の下、韓国農業工学会が今後3年間(～2008年12月31日まで)、編集事務局を担当することとなりました。

これに伴い、Editorial Panelの構成メンバー(編集体制)および新投稿先が下記ようになります。

ただし2005年12月末までに投稿された原稿は、日本(農業土木学会)の責任において進められ、Acceptされたものが韓国事務局へ引き渡されることとなっております。

皆様方の多数の投稿を期待しております。

新投稿先：PWE Chief Managing Editor, Dr. Soon-Jin HWANG
International Society of Paddy and Water Environment Engineering (PAWEES)
KOFST - Main Building #205

635-4 Yeoksam-Dong, Kangnam-Gu, Seoul 135-703, Korea.
Tel : +82 2 562 3627, 562 3613 Fax : +82 2 565 6821
Email : sjhwang@konkuk.ac.kr, pawees@ksae.re.kr(will be made shortly)

(During Jan.2006 to Dec.2008)

編集方針：水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としている。

その分野は、水田農業地帯における灌漑と排水、土壌保全、土地資源や水資源の保全と管理、水田の多面的機能、農業政策、地域計画、バイオ環境システム、生態系の保全、水田保全、田畑輪換等である。

編集体制(2006.1.1～2008.12.31)

- Editor in Chief : Prof. Dr. Yoshisuke Nakano (Japan)
The Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Sciences, Kyushu University, Japan
- Editors 13カ国から14名
- Editing Board 32名
- Managing Editors
Chief Managing Editor : Dr. Soon-Jin HWANG
Department of Environmental Science, Konkuk University, Seoul, Korea
Dr. Yutaka MATSUNO
Faculty of Agriculture, Kinki University, Nara, Japan
Dr. Masaru MIZOGUCHI
Department of Global Agricultural Science, University of Tokyo, Tokyo, Japan
Prof. Dr. Tsugihiko WATANABE
Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto, Japan
Prof. Dr. Ke-Sheng CHENG
Department of Bioenvironmental System Engineering, National, Taiwan University, Taipei, Taiwan, Rep. of China

出版社：Springer Verlag社(ドイツ)

投稿資格：筆者全員が国際学会員であること。

投稿要領等：<http://www.jsidre.or.jp>に詳細を記載しています。

農業土木学会誌への投稿お待ちしております！

農業土木学会誌編集委員会

自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。現在、掲載待ちの報文はなくなり、閲読が終了すれば、早期に掲載できる状況となりました。投稿の際には、農業土木学会ホームページ

に掲載の「農業土木学会誌投稿要項」、「農業土木学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上、ご投稿ください。

学会誌 75 巻の小特集のテーマ

小 特 集 テ ー マ	要 旨 締 切 (A 4 判 1,500 字以内)	原 稿 締 切 (刷 り 上 り 4 ページ厳守)
75 巻 9 号 農地からの土壌流出及びその対策 (仮)	公募終了	平成 19 年 5 月 15 日
10 号 農業農村分野における GIS の活用 (仮)	公募終了	平成 19 年 6 月 15 日
11 号 電磁波計測技術の農業農村工学分野への活用 (仮)	平成 19 年 6 月 11 日	平成 19 年 7 月 31 日
12 号 農業用水の利用形態の変化について (仮)	平成 19 年 7 月 10 日	平成 19 年 8 月 31 日
76 巻 1 号 大規模地震対策の取組みについて	平成 19 年 7 月 25 日	平成 19 年 9 月 25 日

今後取上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集いたします。なお、小特集テーマが仮題となっているものは、予告なく変更することがございます。

採用された原稿の分量は、**刷り上り 4 ページ**となっておりますので、ご執筆の際には**厳守**いただきますよう、お願いいたします。

送付先 〒105 0004 東京都港区新橋 5 34 4 (社) 農業土木学会 学会誌編集委員会あて

☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494 E mail henshu@jsidre.or.jp

「オフィス便り」・「キャンパス便り」・「私の勤める本」の原稿を募集しています！

学会誌には、会員の職場や学校を紹介するコーナーとして、「オフィス便り」・「キャンパス便り」・「私の勤める本」を設け、随時募集しております。多くの会員が身近な情報を提供することにより、学会誌を親しみやすいものにするともに、気軽に投稿できるコーナーとして活用していただきたいと考えております。

内容は、学会誌としての特徴を持ちつつ、他の機関誌とは違ったもので、できるだけ学会に関係のある内容、たとえば、

オフィス便りは、「事業実施において特色ある技術の導入」・「技術的に工夫した点」や「地域の魅力」、「技術者継続教育」・「技術

力の向上」・「技術者倫理」など。

キャンパス便りは、「研究室の研究内容」・「学科紹介」など。

上記の内容を中心に、より広く事業や地域、また大学や研究室の紹介、その他の取組み状況を含めて、職場、学校として特徴のあるものを募集しています。奮ってご投稿ください。

原稿の長さは、**刷り上がり 1 ページ (1,800 字程度)**で、写真を 1 ~ 2 枚程度入れてください。

私の勤める本は、原稿の長さ：1,200 字 (写真・体裁等含む刷り上がり 1 ページ以内原稿には表紙の写真を含めて下さい)

身近にある水利遺構で表紙を飾ろう !!

「水土の知 (農業土木学会誌)」平成 20 年春季の表紙写真の募集

学会誌編集委員会では、平成 20 年も引き続いて皆さまからの写真で表紙を飾ることとします。テーマは昨年と同様で「水利遺構：先人たちの技術と苦労が垣間見える造形美」とします。

下記の要領で学会誌第 76 巻 (平成 20 年 1 ~ 12 月号) のうち、特に春季の表紙写真を募集します。ふるってご応募ください。

記

1. 趣旨

これまで農業土木技術による構造物は、過酷な自然の猛威にさらされながらも、農業経営、防災などの面で人々の生活を支えてきました。これら用水路、頭首工、堰堤などの水利施設は、それ

ぞれの機能を十分に発揮しながら年月を重ねていくことで、水を制御するという力強さに、そして周囲の自然景観にとけ込むことで、その美しさに磨きがかかってくるようです。

先人たちが遺してくれた多くの構造物の中には、かけがえのない風景を生み出す文化遺産とも言うべき名高いものもありますが、私たちが身近で目にする農村地域にも、規模は小さくとも凛として美しい文化的な技術遺構がいくつも存在しています。

みなさんの目にとまった構造物で、「先人たちの技術と苦労が垣間見える造形美」を学会誌の表紙写真で紹介ください。

2. 写真の種類

単写真,組写真いずれもカラープリントで(デジタルカメラの場合はJPEG ファインモードまたはTIFF モードに設定)撮影してください。入選の際にはデジタルデータをお送りいただく場合があります。組写真の場合は,その旨明記してください。

3. 枚数

応募写真に制限はありませんが,未発表のものに限ります。

4. 締切 平成 19年 6月 30日(春季の写真)

5. 注意点

応募された被写体の季節が極端に偏ることから,募集する季節ごとに締切を設けさせていただきました。ご注意ください。

審査は上記の趣旨を十分理解されている写真であるか,表紙写真の質として耐えうるかということを重視します。具体的には,水利構造物の形状や機能が,その写真から十分に読みとれる(花などの情緒物に埋没しない),デジタル画像の場合で解像度が不十分で表紙に拡大してドット崩れしない,ことが採用の条件となります。

平成 19 年度農業土木学会九州支部 第 88 回講演会(シンポジウム)・第 30 回講習会(現地見学会)について 農業土木技術者継続教育機構プログラム申請中



九州支部では,今年度から,これまで別々に開催していた講演会・シンポジウムと講習会・研修会を統合し,下記のとおり開催することにしました。

皆様のご参加をお待ちしております。

1. 演題

講演会...農業土木関係の最先端の研究,施工事例等の発表
シンポジウム...未定
講習会...未定
現地見学会...未定

2. 日時

平成 19年 10月 18日(木)~10月 19日(金)

3. 場所

佐賀市 ルネッサンスホテル創世
〒840 0804 佐賀県佐賀市神野東 2 5 15
☎0952 33 5511

4. 問合せ先

佐賀県県土づくり本部農山漁村課計画調整担当
〒840 8570 佐賀県佐賀市内 1 1 59
☎0952 25 7124 FAX 0952 25 7284

農地保全研究部会第 28 回研究集会(共催 北海道)

「農村景観形成における農地保全の役割」

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



農地保全研究部会では平成 19 年度の研究集会を 9 月 20・21 日の両日,北海道の美瑛町で開催します。

部会員はもちろんのこと,農業土木学会の会員・非会員を問わず参加を歓迎いたします。

1. 開催日

研究集会:平成 19年 9月 20日(木) 10:00~17:00(受付 9:30~)
現地見学会:平成 19年 9月 21日(金) 9:30~15:00(終了時刻は予定)

2. 場所

研究集会 美瑛町町民センター(美瑛町寿町 2 3 13)
現地見学会 美瑛町および近郊市町村における農業農村整備事業関連施設等

3. プログラム

(1) 研究集会

10:00~10:20 開会式
10:20~11:10 特別講演 美瑛町の景観の魅力と新たな取組(株)美瑛の学び舎代表取締役 田中 勝

11:10~12:00 基調講演 農地・農村の空間・景観 北海道で考える 農村空間研究所 所長 梅田 安治(北海道大学名誉教授)

13:00~13:40 講演 1 北海道における農村資源の保全活動 北海道農政部農村設計課主幹 大西 英昭

13:40~14:20 講演 2 美瑛町における景観に関する取組 美瑛町政策調整室室長 大関 修一

14:20~15:00 講演 3 季節の移ろい花に託す 展望 花畑 四季彩の丘代表 熊谷 留夫

15:00~15:40 講演 4 農業基盤整備と農村景観 北海道大学大学院農学研究院助教 山本 忠男

15:50~16:55 総合討論

17:00 閉会

(2) 現地見学会 平成 19年 9月 21日(金)

9:30~15:00 9:15~9:30 集合(JR 美瑛駅前バス乗り場)

終了時間と解散場所 15:00 JR 美瑛駅

*その後,バスは旭川空港(15:30)を経由して JR 旭川駅

(16:10)に到着します。

見学場所

1) 国営畑地帯総合土地改良パイロット事業 しろがね地区 (美瑛町, 上富良野町), 2) 道営土地改良総合整備事業 美沢地区 (美瑛町), 3) 四季彩の丘 (美瑛町), 4) 土の館 (上富良野町)

4. 参加費用等

- (1) 研究会参加費 2,000 円
- (2) 現地見学会参加費 2,000 円 (別途昼食代 1,500 円)

5. 参加申込

(1) 申込方法

申込は「研究会参加申込書(学会 HP よりダウンロードしてご利用下さい)」様式にて、所属機関ごとに取りまとめの上、E mail, 郵送または FAX でお願いします。

(2) 申込先

住所 〒079 8610 旭川市永山 6 条 19 丁目
上川支庁産業振興部整備課農地保全研究会参加受付担当

☎ 0166 46 5170 FAX 0166 46 5216

E mail kamikawa.seibi1@pref.hokkaido.lg.jp

注(メールにて申込の方は件名に「農地保全研究会参加申込」を記載してください)

(3) 申込期限 平成 19 年 8 月 20 日(月)

(4) 参加費の振込み

振込期限: 平成 19 年 8 月 31 日(金)

振込口座: 北海道銀行札幌駅北口支店(152)普通 1063572

口座名義: 農業土木学会農地保全研究部会

代表 長澤徹明

* 公費等による後払いにも対応可

6. 問合せ先(研究会事務局)

〒060 - 8589 札幌市北区北 9 条西 9 丁目

北海道大学大学院農学研究院土地改良学研究室長澤徹明・山本忠男

☎011 706 2560 E mail nouchihozen-hokkaido@agr.hokudai.ac.jp, (HP <http://www.agr.hokudai.ac.jp/nougyoudoboku/nouchihozen/index.html>)

第 20 回水文・水環境研究部会シンポジウムのご案内(第 1 報)

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



- 1. 期日 平成 19 年 11 月 8 日(木)9 日(金)
- 2. 会場 岡山大学 津島キャンパス 創立五十周年記念館 2 階 大会議室
(〒700 8530 岡山市津島中一丁目 1 番 1 号)
- 3. プログラム(予定)
11 月 8 日(木) 12:30~13:25 受付
13:30~17:30 研究会
18:00~20:00 情報交換会
11 月 9 日(金) 10:00~(未定) 研究会
- 4. 講演内容 農林地および広域の水文・水環境
- 5. 講演時間 1 課題 30 分程度(質疑応答も含む)
- 6. 参加費 1,000 円(講演要旨となります部会誌「応用水文 No 20」の代金を含む)
- 7. 講演申込 申込先は下記の研究会・情報交換会の参加申込先と同じです。なお、申込締め切りについては部会 HP をご覧ください。
- 8. 講演原稿 原稿は A4 サイズ(10.5 ポイント 40 字×40 行, マージン: 上 25 mm, 下 27 mm, 左 23 mm, 右 25 mm) の 10 頁までとし、題名の和文・英文, 著者名・所属の和文・英文, abstract(250 words 以内), 要旨(350 文字以内), キーワード(5~7 個), 本文(原則 1 段組) の順として下さい(部会 HP

にサンプルがあります)。A4 原稿を B5 サイズに縮小し、部会誌「応用水文 No 20」としてオフセット印刷します。送付先は下記の研究会・情報交換会の参加申込先と同じです。なお、申込締切り等については部会 HP をご覧ください。今回より「応用水文」の論文掲載方法にいくつかの変更点があります。

- 9. 情報交換会 平成 19 年 11 月 8 日(木) 18:00 から
会場未定, 会費 5,000 円(予定)
- 10. 研究会・情報交換会の参加申込み
ご氏名, 連絡先(住所, TEL, FAX, E-mail)および参加項目(研究会・情報交換会)を記載の上, 下記宛 FAX または E-mail でお申込み下さい。
なお、申込締切りについては部会 HP をご覧ください。
〒690 8504 島根県松江市西川津町 1060
島根大学生物資源科学部 武田 育郎あて
TEL&FAX: 0852 32 6552 (宗村 広昭)
E-mail:som-hiroaki@life.shimane-u.ac.jp (宗村 広昭)
- 11. 宿泊申込 宿泊の斡旋は致しません。

【付記】部会シンポジウムの最新情報および詳細情報は部会 HP (<http://ealfor.ans.kobe-u.ac.jp/hydenv/index.html>) をご覧ください。

第53回 風に関するシンポジウム開催案内

幹事学会：水文・水資源学会

共催学会（予定を含む）：農業土木学会他 16 学会

1. **日時**：平成 19 年 6 月 21 日（木）

午前 10 時～5 時

2. **場所**：東京大学弥生講堂・一条ホール

東京都文京区弥生 1 1 1 東京大学農学部内

（地図参照）

南北線「東大前」駅下車 徒歩 1 分

千代田線「根津」駅下車 徒歩 8 分

3. **プログラム概要**

フラックス輸送に寄与する渦の姿と観測上の問題点：渡辺 力

（北海道大学・低温科学研究所）

都市域における乱流観測の現状と展望：神田 学（東京工業大

学・国際開発工学専攻）

海面上における乱流フラックス測定の実状と課題：塚本 修（岡山大学・自然科学研究科）

ほかに、一般講演、総合討論を予定しております。プログラムの内容が決定次第、水資源学会ホームページ（<http://www.jshwr.org/modules/news/>）に掲載いたします。

4. **参加費**：無料（資料代として 1000 円いただきます。）

5. **懇親会**：シンポジウム終了後、懇親会を予定しています。

6. **問合せ先**

〒606 8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学農学研究科地域環境科学専攻 谷 誠

E mail: tani@kais.kyoto-u.ac.jp

改訂 農村計画学

（社）農業土木学会

目 次

内 容 紹 介

まえがき

第 1 章 農村の特質と農村計画

1.1 わが国の農村と計画の背景

1.2 農村の特質

1.3 農村計画の歴史

第 2 章 農村計画の体系と構成

2.1 農村計画の体系

2.2 農村計画の構成と役割

2.3 計画の主体と住民参加

第 3 章 土地利用計画

3.1 わが国の土地利用の特徴と課題

3.2 土地利用計画の構成

3.3 農業生産環境の整備と土地利用

3.4 農村集落の土地利用秩序の実現

第 4 章 生活環境整備

4.1 生活環境整備の意義と必要性

4.2 生活環境整備の考え方

4.3 生活環境整備の計画手法

4.4 生活環境施設の整備

4.5 生活環境施設と管理と整備効果

第 5 章 農村環境整備の保全と管理

5.1 農村環境と資源の循環利用

5.2 水環境の保全と創造

5.3 地域生態系の保全と管理

5.4 景観の保全と形成

5.5 環境管理の方法

第 6 章 中山間地域の活性化

6.1 中山間地域の現状と課題

6.2 中山間地域への新たな期待

6.3 中山間地域の活性化対策

第 7 章 西欧の農村計画

7.1 オランダの空間整備計画

7.2 ドイツの農村整備

7.3 フランスの土地利用計画

7.4 イギリスの環境保全政策

7.5 EU の条件不利地域政策

A 5 判 284 ページ 定 価 4,200 円（内税・送料学会負担）
 会員特価 3,500 円（内税・送料学会負担）
 [会員特価は、個人会員による前金購入の場合のみ適用されます]

申込先 〒105 - 0004 港区新橋 5 - 34 - 4
 （社）農業土木学会
 TEL 03 3436 3418 FAX 03 3435 8494